

平成 18 年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例」の出題の趣旨

第 1 問（配点 30 点）

D 社が抱えている問題点を財務分析の面からの確に指摘できる能力を確認するために、提示された財務諸表と D 社の状況説明文から判断して、適切な経営指標を選択し、その名称および算出方法が正しく理解できているか、さらに問題点とその原因を論理的に説明できるかを問う問題である。

第 2 問（配点 20 点）

（設問 1）

企業の財務的側面の診断にはキャッシュフローを的確に把握する能力が求められるが、基礎知識としての、営業活動、投資活動および財務活動によるキャッシュフローの計算能力を問う問題である。

（設問 2）

（設問 1）の計算結果に基づいて、D 社のキャッシュフローに関する問題点を的確に分析する能力を問う問題である。

第 3 問（配点 20 点）

（設問 1）

D 社の店舗タイプごとの採算性について、売上高、変動費および固定費の観点から検討する能力を確認するために、限界利益率および貢献利益率を算出する能力を問う問題である。

（設問 2）

D 社の店舗タイプごとの採算性を判断するに当たり、どのような視点から検討すべきかを問う問題である。

第 4 問（配点 15 点）

追加的な投資案の採算性を検討する際に考慮すべき内容とその計算方法を正確に理解しているかを問う問題である。

第 5 問（配点 15 点）

（設問 1）

POS システムをより有効に活用するための現状把握および改善案作成について、仕入・在庫管理という課題からその能力を問う問題である。

（設問 2）

（設問 1）と同様に、POS システムをより有効に活用するための現状把握および改善案作成について、効果的な商品入れ替えという課題からその能力を問う問題である。

以上